

# 牛久：学校周辺に見る自然

第7号 ひたち野うしく小学校

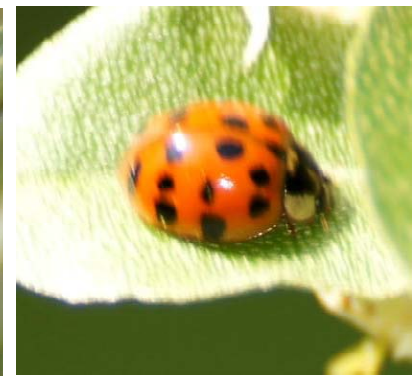
2018年5月20日発行

## ＜ 春のみずべ公園で生きもの観察 ～③花に来る虫たち・アキグミ＞

ひたち野うしく小4年生と探した、みずべ公園の春の生きものたち。今回は、アキグミの花に来ていた虫たちを紹介（しょうかい）します。4/24の1組の時にはイヌザクラがきれいでしたが、アキグミはまだ蕾（つぼみ）で



した。それが5/1の2～5組の時には満開（まんかい）。イヌザクラはほぼ終わっていました。そしてアキグミも3-5、6組が観察した5/8にはほぼ終わり、小さな蕾（つぼみ）だったエゴノキがほぼ満開（まんかい）でした。今年は、季節の進むのがとても早く感じますね。庭や校庭の花がいつ咲き始め（まんかい）、満開（まんかい）となり咲き終わるか、毎年（毎年）記録（きろく）しておく、いろいろと見えてくることもあるのではないのでしょうか？



蜜（みつ）や花粉（かふん）を求めてアキグミに集まるコアオハナムグリ（上）、蜜（みつ）を吸うアカタテハ（中左）、キイロスズメバチ（中右）、アブラムシを食（く）べたり交尾（こうび）するナミテントウ（下3枚）。

さて、前置（まえお）きが長くなりました。満開（まんかい）のアキグミは、甘い香（か）りを漂（ただよ）わせていましたね。アカタテハやアオスジアゲハ、ミツバチやキイロスズメバチが来て蜜（みつ）を吸（す）っていましたが、一番（いちばん）めだったのはコアオハナムグリでした。花にもぐるようにして蜜（みつ）や花粉（かふん）をなめるので「花むぐり」。いろいろなもよう（もよう）のナミテントウも、アブラムシを食（く）べたり忙（いそが）しそうでした。

【理科支援員：宮内】